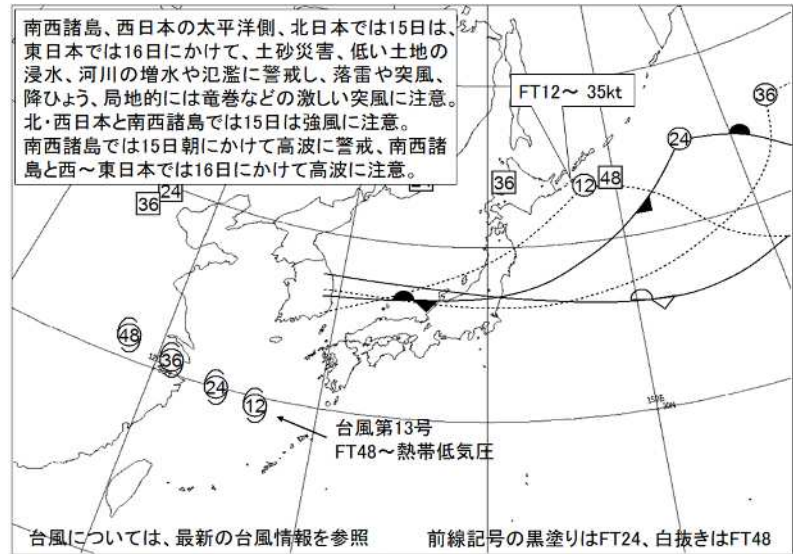


1. 実況上の着目点

- ① 台風第13号は、15日3時に強い勢力となり発達しながら東シナ海を北西進。南西諸島は台風本体の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い非常に激しい雨を解析、メソサイクロンを検出し、竜巻注意情報を発表。非常に強い風が吹き、うねりを伴い大しけとなっている所がある。
- ② 西～東日本の太平洋側では、台風周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨を解析。また、気圧の傾きが大きくなり、やや強い風が吹き、しけている所がある。



主要じょう乱解説図

- ③ 沿海州付近を東進する 500hPa 5580～5700m のトラフに対応して、前線を伴った低気圧が日本海を東北東進。低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨を解析。また、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波がやや高くなっている所がある。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 強い台風第13号は、15日は発達しながら東シナ海を西北西進、16日は華中へ進んで熱帯低気圧に変わる。南西諸島や西～東日本の太平洋側では、15日はやや強い風や強い風が吹き、15日朝にかけて大しけとなる所があり、その後も16日にかけて波が高い状態が続く。また、台風周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫、高波に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、強風に注意。
- ② 西～東日本の太平洋側では、15日は台風周辺の下層暖湿気の影響で、雷を伴い非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷、突風に注意。
- ③ 1項③の低気圧は、15日は発達しながら北日本を通過し千島の東へ進み、前線が北～東日本を南下。16日は前線が東日本付近に停滞する。前線や低気圧に向かう下層暖湿気や日射による昇温の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。北日本では15日は、東日本では16日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒し、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。また、北日本では15日は、強風にも注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項【量的予報等】** ①雨量(06時から24時間)：四国150、九州南部120、東北・関東甲信・北陸・近畿100mm。②波浪(明日まで)：奄美6、九州南部・沖縄5、四国・九州北部4、東海・近畿3m。③高潮(明日まで)：大潮の時期。西～東日本で注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第13号に関する情報(総合情報)」及び「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を5時頃に発表予定。